



# 広域大気環境対策費（うち大気環境監視システム整備経費）

平成29年度予算(案)  
523百万円 (502百万円)  
うち157百万円 (160百万円)

## 背景・目的

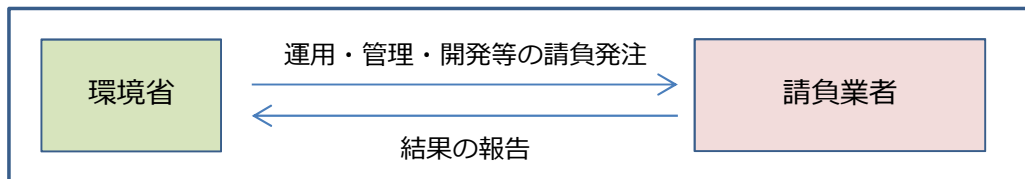
大気汚染防止法に基づく、各種の大気汚染物質の濃度等の大気汚染及び花粉飛散状況の情報提供について、全国で一元的にリアルタイムで表示できるシステムを運用することによって実現している。

PM2.5の注意喚起情報等もリアルタイムで情報提供することにより、健康被害の未然防止及び安心・安全の確保の観点から国民からのニーズも高い。

## 事業概要

- ・全国50の自治体等とオンラインで接続した大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」により、大気汚染常時監視結果や光化学オキシダント注意報の発令状況等をホームページ上でリアルタイムに公開。
- ・全国120箇所を設置した花粉自動計測器から携帯通信網で接続した花粉観測システム「はなこさん」により、花粉飛散数をホームページ上でリアルタイムに公開。
- ・スマートフォンのアプリを通じて国民が簡便かつ明解にPM2.5の情報にアクセスできるようにすることで「見える化」を促進。
- ・黄砂飛来状況の情報提供やPM2.5に関して国内・国外へ情報提供。

## 事業スキーム

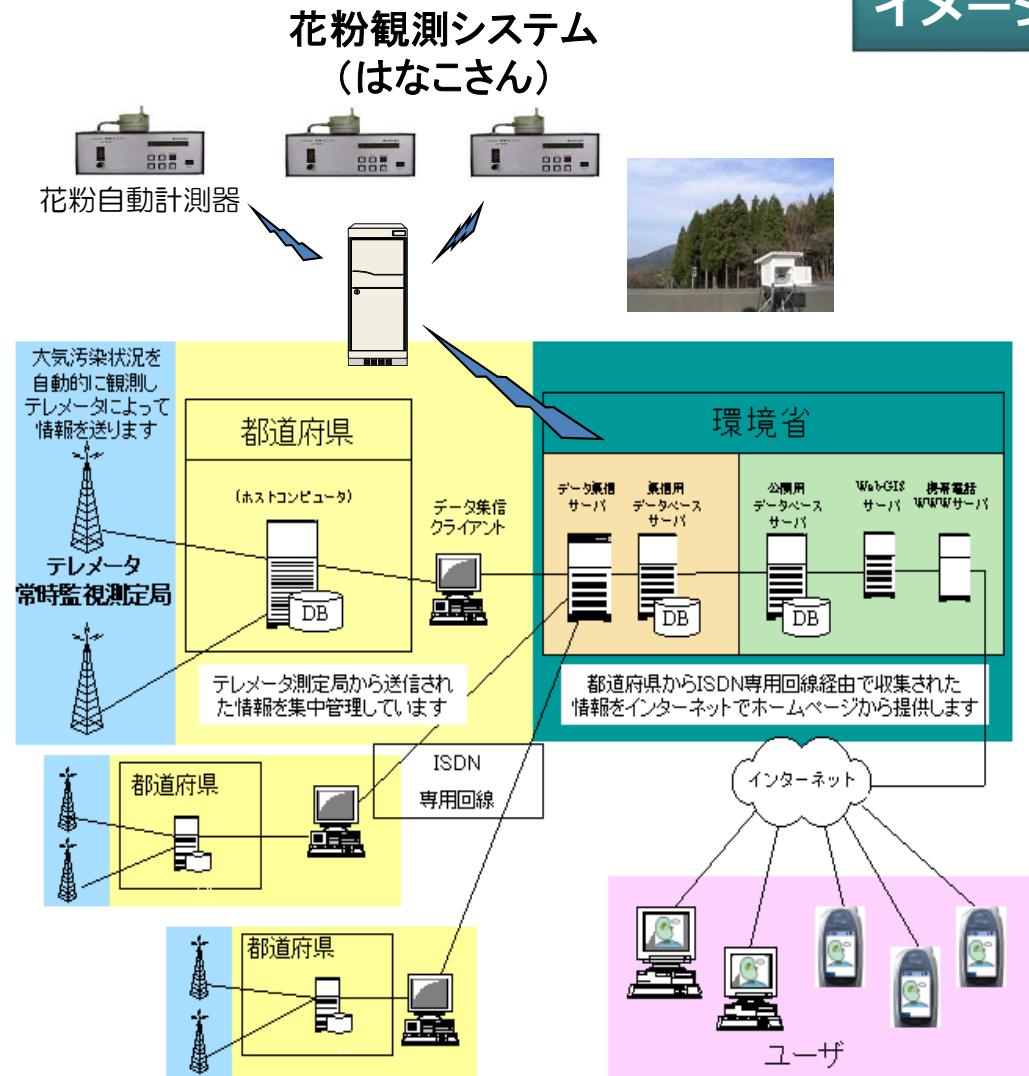


## 期待される効果

大気汚染常時監視及び花粉飛散データを、簡便かつリアルタイムに情報提供することにより、環境基準達成等に係る国民の意識を醸成するとともに、大気環境に対する安心・安全を確保し、健康被害を未然に防止する。

## 事業目的・概要等

## イメージ



### 測定項目

- ・ NO<sub>2</sub> NO NO<sub>x</sub>
- ・ SPM O<sub>x</sub> SO<sub>2</sub>
- ・ CO NMHC PM2.5
- ・ CH<sub>4</sub> THC WD, WS
- ・ TEMP など

## 大気汚染物質広域監視システム（そらまめ君）



# 広域大気環境対策費（うち越境大気汚染対策推進費）

平成29年度予算(案)  
523百万円（502百万円）  
うち366百万円（342百万円）

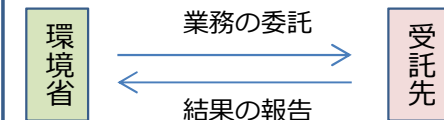
## 背景・目的

- 東アジア地域の急速な発展に伴い、我が国への黄砂や越境大気汚染が懸念される。
- 継続的にモニタリングを実施し、越境大気汚染や黄砂に関する実態解明を着実に推進する。
- 国際的には、EANET参加国のモニタリング等の能力向上を図るとともに、TEMMの枠組みの下、大気汚染に関する政策対話やワーキンググループを通じた協力や、黄砂に関する共同研究を進める。

## 事業概要及びスキーム

- 東アジア地域における越境大気汚染対策のための国際協調推進費（97百万円：民間団体委託）
- 越境大気汚染モニタリング推進費（269百万円：民間及び地方公共団体委託）

### 事業スキーム



## 期待される効果

- 越境大気汚染や黄砂の実態解明、科学的な知見に基づく国際協力の推進。
- 我が国への黄砂や越境大気汚染の緩和。

## 東アジア地域における越境大気汚染対策のための国際協調推進費

### 東アジア地域における大気環境管理戦略の検討

東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）活動や日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）の枠組み等を活用した、東アジア地域の大气汚染防止のための戦略の検討。

### EANETの発展の促進

EANET参加国（日本を含む13か国）の協働によるPM2.5・オゾン等のモニタリング強化等。

### TEMMの下での国際協調の推進

TEMM等における合意を踏まえた、大気汚染や黄砂に関する協力（ワーキンググループや技術ネットワークを通じた協力）の推進。

データや  
知見の活用

## 越境大気汚染モニタリング推進費

「越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画」（H26年3月改定）に基づき、越境大気汚染・酸性雨の影響を早期把握するための体制構築とモニタリング実施。

黄砂の飛来実態の把握のため、黄砂実態解明調査、飛来状況リアルタイム観測網構築・情報提供等を実施。